

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆景気「緩やかに回復」維持 2月の月例報告

・政府は2月の月例経済報告で、国内の景気判断を「一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している」と据え置いた。2024年8月から同じ判断を維持している。項目別の判断では韓国や台湾向けの半導体製造装置や中国向けの工作機械が好調だとして輸出を上方修正した。

◆エネ基本計画の意見公募でAI利用、4000件弱投稿か

・原発を最大限活用すると打ち出した政府のエネルギー基本計画のパブリックコメント(意見公募)を巡り、10件以上投稿した46人だけで計3940件の意見を寄せていたことが経済産業省の調べで分かった。全意見の約1割に当たり、反原発の訴えが大半。生成AIによる大量投稿が頻発すれば、民意が偏っていると受け止められる可能性も。

◆社長の平均年齢が過去最高に トップは不動産の65.38歳、建設業は63.68歳

・東京商工リサーチは2024年「全国社長の年齢」調査の結果を公表。社長の平均年齢は63.59歳と前年を0.24歳上回り、調査を開始した2009年以降、過去最高を更新。年代別では、70代以上が34.47%(前年34.11%)と最も多く、全体の3分の1を占めた。50代(25.34%)、60代(26.57%)も前年から上昇し、高齢化が加速している。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆職種別の労務単価 大工は+6.3%、左官は+6.8%

・国土交通省は2024年度に実施した公共事業労務費調査に基づき、3月から新たな公共工事設計労務単価を適用。今年は時間外労働の上限規制への対応に必要な費用を反映。これによると、全国全職種の加重平均値は2万4852円(前年3月比+6.0%)で、13年連続の上昇となっている。

◆中古マンション、千代田・港区2億円超え 新築減少進む

・東京都心で中古マンション価格の高騰が続いている。特に人気の高い千代田区と港区の平均価格は1月、初めて2億円の台に乗せた。富裕層や海外からの旺盛な需要に加え、建築費の高騰などで新築の供給が細ったことが拍車をかける。周辺部の価格上昇は緩やかで、都心部との二極化が鮮明になっている。

◆荏原に公取委が勧告 過去最多の木型8900個無償保管

・下請け企業に木型や金型などを無償で保管させていたのは下請法違反にあたるとして、公正取引委員会は国内ポンプ最大手の荏原に再発防止と保管費用の支払いを勧告。違反認定された木型などの数は8900個に上り、勧告で最多。ポンプやその部品の製造を下請け企業に委託、量産に必要な木型や金型、治具など貸与していた。

《 注目商品 》

■LIXIL、門構えを彩りながらも住まいの防犯対策にもつながる門扉

・門構えを彩りながらも住まいの防犯対策にもつながる門扉カテゴリーに新商品を追加。門扉シリーズにスマートロックシステム「FamiLock」を展開。力を出さずにタンを押すだけで素早く解錠し、門扉が締まると自動で施錠するので力を締め忘れる心配がない。



■YKK AP、高断熱玄関ドアのデザイン・色拡充

・高断熱玄関ドア「イノベスト D50」に新デザイン・新色を追加するとともに、求めやすい価格帯の「イノベスト D50 Basic」を発売。11デザインを追加、全23種類に。カラーも13色のうち9色を刷新、現在の住宅に調和する彩度を抑えた色調とし、グレイ系カラーを5色拡充。



■タカラスタANDARD、「エマウォール インテリアタイプ」に「レーザーカットパネル」

・独自のホーロー内装材「エマウォール インテリアタイプ」に、パネル間の見切り材が不要でシームレスな仕上げが可能な「レーザーカットパネル W」、「レーザーカットパネル S」を企業向けに新たにラインアップし発売。パネルの端部をシャープに仕上げ見切り材が不要。

